

# 三水会会報

北里大学海洋生命科学部  
同窓会会報 第 76 号

平成30年9月発行

編集者 内藤 文隆  
発行 三水会(北里大学  
海洋生命科学部同窓会)

事務局 〒246-0031 神奈川県  
横浜市瀬谷区瀬谷5-22-1

TEL フリーダイヤル  
0120-873-135

|             |     |                |     |
|-------------|-----|----------------|-----|
| 目次          | P.1 | 研究室紹介          | P.5 |
| 総会報告        | P.2 | 退職のご報告／関東地区親睦会 | P.6 |
| 〃           | P.3 | 準会員活動報告／三陸を語る会 | P.7 |
| 第14期役員紹介 6名 | P.4 | お知らせ           | P.8 |

## 【崎浜地区】

流失した集落は整理されて、家を失った方達は高台に移転しました。



崎浜入口の道路から見た海岸の様子。右には「ひょうたん島」が見えます。



## 【浦浜地区】

ポプラの木の周辺は公園として整備されました。



## 【大船渡市内】

流失した町並みは整備が進んでおり、ホテルルートイン大船渡や大船渡プラザホテル等が新しくオープンしております。



(中嶋勇喜氏写真提供) \*中嶋様より提供いただいた多くの写真は三水会HPに掲載します。

## 「平成30年度 三水会定期総会報告」

平成30年5月19日(土)午後5時より北里大学白金キャンパス薬学部一号館1402教室において、平成30年度三水会定期総会が開催されました。

代議員総数52名に対し、出席数48名(本人出席39名、委任状提出者9名)欠席4名となりました。冒頭、議長団の選出では議長に水産食品学科3期・鈴木潤一氏、続いて議事録署名人には水産増殖学科4期・石井美華氏、水産食品学科13期・源裕次氏を選出した。

その後議事に入り執行部より、平成29年度事業報告及び収支決算報告が行われ、続いて監査報告が行われました。そして原案通り承認されました。

引き続き平成30年度事業計画案及び予算案の説明があり、原案通り承認されました。また今総会では3年間の任期満了での改選が行われ、提出された第14期三水会役員推薦者名簿を全会一致で承認した。新執行部の任期は2018年5月19日から2021年度総会までとなります。

## 「平成29年度事業報告」

### 1. 会報の発行

同窓生の動向、海洋生命科学部部の現状、および各種情報を含む会報を平成29年9月と平成30年3月に2回発行した。

2. 三水会ホームページの運営管理  
会員に対し本会の各種情報を提供した。

尚、プロバイダー契約を2020年12月まで更新した。

3. 会員の現状の把握  
全学同窓会と連携し、会員情報の正確性の向上に努めた。

4. 親睦会の開催  
各地区の会員を主な対象とした親睦会を開催した。

平成29年7月に関東地区、11月に関西地区、平成30年2月には北海道地区にて開催した。

5. 同期会等の助成  
研究室同窓会およびクラブOB会等、卒業生による集会費用の一部を助成した。

6. 懇談会の開催  
学部教職員および在学生等との懇談会を開催した。

7. 準会員活動助成  
クラブの活動経費、準会員活動経費の一部を助成した。

8. 就職ガイダンスの開催  
各分野の卒業生を講師に招いた就職ガイダンスを海洋生命科学部

## 平成29年度収支決算書

平成30年3月31日現在

| 支出の部            |            |            | 収入の部       |            |            |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 科 目             | 予算額        | 決算額        | 科 目        | 予算額        | 決算額        |
| 1. 事業費          | 3,750,000  | 3,377,147  | 1. 部会助成金   | 4,656,000  | 4,656,000  |
| (1) 会報の発行費      | 2,350,000  | 2,140,654  | 2. 会報郵送料補助 | 742,000    | 742,000    |
| (2) 三水会HPの運営費   | 200,000    | 194,368    | 3. 前年度繰越金  | 5,202,812  | 5,202,812  |
| (3) 親睦会の開催費     | 400,000    | 515,545    | 4. 預金利息    | 3,000      | 58         |
| (4) 同期会等助成費     | 200,000    | 124,000    | 5. 雑収入     | 10,000     | 65,000     |
| (5) 懇談会費        | 100,000    | 49,780     |            |            |            |
| (6) 準会員活動助成金    | 200,000    | 150,000    |            |            |            |
| (7) 就職ガイダンスの開催費 | 250,000    | 152,800    |            |            |            |
| (8) 漁船海難遺児育英会寄付 | 50,000     | 50,000     |            |            |            |
| 2. 運営・管理費       | 2,370,000  | 1,856,174  |            |            |            |
| (1) 印刷・通信費      | 420,000    | 280,510    |            |            |            |
| (2) 会議費         | 700,000    | 524,469    |            |            |            |
| (3) 総会費         | 300,000    | 215,200    |            |            |            |
| (4) 事務局費        | 900,000    | 825,995    |            |            |            |
| (5) 慶弔費         | 50,000     | 10,000     |            |            |            |
| 3. 予備費          | 4,493,812  | 0          |            |            |            |
| 4. 次年度繰越金       |            | 5,432,549  |            |            |            |
| 合 計             | 10,613,812 | 10,665,870 | 合 計        | 10,613,812 | 10,665,870 |

## 財 産 目 録

平成30年3月31日現在

### \*一般会計(円)

| 預金等          |       |           |           |
|--------------|-------|-----------|-----------|
| みずほ銀行        | 三ツ境支店 | 普 1159267 | 288,071   |
| 山梨中央銀行       | 小沼支店  | 普 214393  | 4,532,264 |
| みずほインベスターズ証券 | 新宿支店  | MMF       | 606,790   |
| 現 金          |       |           | 5,424     |
| 合 計          |       |           | 5,432,549 |

### \*特別会計(円)

#### (1) 事業積立金

|              |      |     |           |
|--------------|------|-----|-----------|
| みずほインベスターズ証券 | 新宿支店 | MMF | 1,000,000 |
|--------------|------|-----|-----------|

#### (2) 大学助成金

|        |         |            |         |
|--------|---------|------------|---------|
| ゆうちょ銀行 | 〇八八 088 | 普 15963761 | 150,141 |
|--------|---------|------------|---------|

※一般会計「準会員活動助成」の対象とならない北里大学や準会員以外の団体等に対する助成を目的とする積立金

## 監 査 報 告

三水会規約に基づき、提出された収支決算書の各事項について監査を行った結果、その内容は適当なものと認めます。

平成30年5月19日

監事 伴 圭司  
監事 大野 良樹

平成30年度予算（案）

| 支出の部            |            | 収入の部       |            |
|-----------------|------------|------------|------------|
| 科目              | 予算額        | 科目         | 予算額        |
| 1. 事業費          | 3,950,000  | 1. 部会助成金   | 4,639,000  |
| (1) 会報発行費       | 2,400,000  | 2. 会報郵送料補助 | 761,000    |
| (2) 三水会HPの運営費   | 200,000    | 3. 前年度繰越金  | 5,432,549  |
| (3) 会員現況把握費     | 50,000     | 4. 預金利息    | 3,000      |
| (4) 親睦会開催費      | 500,000    | 5. 雑収入     | 10,000     |
| (5) 同期会等助成費     | 200,000    |            |            |
| (6) 懇談会費        | 100,000    |            |            |
| (7) 準会員活動助成金    | 200,000    |            |            |
| (8) 就職ガイダンスの開催費 | 250,000    |            |            |
| (9) 漁船海難遺児育英会寄付 | 50,000     |            |            |
| 2. 運営・管理費       | 2,370,000  |            |            |
| (1) 印刷・通信費      | 420,000    |            |            |
| (2) 会議費         | 700,000    |            |            |
| (3) 総会費         | 300,000    |            |            |
| (4) 事務局費        | 900,000    |            |            |
| (5) 慶弔費         | 50,000     |            |            |
| 3. 予備費          | 4,525,549  |            |            |
| 合計              | 10,845,549 | 合計         | 10,845,549 |

在學生を対象に、相模原キャンパスにて開催した。前年度よりの試みとして、ガイダンス終了後、軽食を取りながら講師と参加学生との交流会を開催したが、今年度も行った。

9. 漁船海難遺児育英会寄付  
漁船海難等により親を亡くした子弟に学費の援助を行っている漁船海難遺児育英会に対し、寄付を行った。

『平成30年度事業計画（案）』

1. 会報の発行  
同窓生の動向、海洋生命科学部の現状、および各種情報を含む会報を平成30年9月と平成31年3月の二回発行する。

2. 三水会ホームページの運営管理  
会員に対し本会の各種情報を提供する。

3. 会員の現状の把握  
全学同窓会と連携し、会員情報の正確性の向上に努める。  
今年度は各研究室コード不明者の登録作業を行う。



4. 親睦会の開催  
各地区の会員を対象とした親睦会を開催する。

5. 同期会等の助成  
研究室同窓会やクラブOB会等、卒業生の集会費用の一部を助成する。

6. 懇談会の開催  
学部教職員および在學生等との懇談会を開催し意見交換を行う。

7. 準会員活動助成  
クラブの活動経費、準会員活動経費の一部を助成する。



8. 就職ガイダンスの開催  
各分野の卒業生を講師に迎え、就職ガイダンスを海洋生命科学部在學生を対象に行う。  
終了後、各講師と学生との交流会を開催する。

9. 漁船海難遺児育英会寄付  
漁船海難等により親を亡くした子弟に学費の援助を行っている漁船海難遺児育英会に対し、寄付を行う。

## 第14期役員紹介

佐々木尊司 (F F 5)



第14期新任理事紹介と言う事で原稿のご依頼を頂きました。

先ずは学生時代の多くを過ごした三陸ですが、三陸駅前の田中アパートに1977年4月に入居。そこで素晴らしい環境の中で酒を酌み交わし、4人での中国語に切磋琢磨、時には自動車やオートバイで山を走ったりとアツと言期間の三陸生活の3年間でした。

現在は㈱ヤヨイサンフーズで生産部門に所属していますが、きっかけは4年生の夏に太田教授に当時の「ヤヨイ食品㈱」で働かないか?と声を掛けられ、聞いた事が無い会社でしたが3期の斎藤勤先輩も務めている事を聞き、電話で会社の状況を確認し入社を決めました。入社してみると聞いた話と違いましたが、今では入社して良かったと思っています。今年で入社から38年が過ぎ年齢は61歳になりました。

同世代の皆様には負けないように出来れば2020年の東京オリンピックまでは東京で頑張ろうと思っていますので今後も宜しくお願いします。

この度、新たに理事に推挙いただきました。水産食品学科7期生の藤田伸治と申します。どうぞよろしくお願いたします。



新任の理事の中では、年長組だと思われれます。年配者としての知識と経験で三水会に貢献できればと存じます。研究室は川内先生の分子内分泌学研究室、通称LMEでした。ここでは鮭の脳下垂体ホルモンの単離同定をしていました。授業が終わると、空手道部で身体を鍛えながら、もう一つの部活動、軽音楽部でベースを弾いていました。社会人になってからは転勤族となり、主に東日本を転々と異動して今に至ります。現在は東京に戻り仕事を続けております。

遅ればせながらご挨拶させていただきます。私は、昨年からの理事を務めさせていただいております北島康弘と申します。学生時代は、水族病理学研究室に所属し、恩師である小林正典教授から研究を超えた多くの指導を受け、1990年3月に卒業いたしました。部活動は陸上競技同好会と潜水部を兼部し、多くの方々の支援を受けながら三陸での生活を満喫させていただきました。卒業後は運命に導かれるまま、学校法人北里研究所(北里大学)に事務職員として就職し、人生の半分以上を北里でお世話になっております。常に北里へ恩返しすることを考えておりますが、引き続き理事として皆様のお役に立てるよう一杯頑張りますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



この度、北里大 学三水会の理事を務めさせていただきますことになりました。水産学部水産生態学研究室出身)です。

私は、東日本大震災で流出したガレキの分布把握やガレキに付着する生物について研究を行ってきました。現在は、建設会社の技術研究所で働いております。学部生・修士課程は三陸で過ごし、震災のため、博士課程は相模原で過ごしました。大学院在学中は、三陸沖での調査のため、三陸研修所によく滞在していました。そのため、多くの先輩方と三陸で知り合うことができました。そのご縁もあり、この度、三水会理事に就任させて頂きました。三陸と相模原の両方を知るからこそ、出来ることも多々あると思います。精一杯、理事を務めていきますので、どうぞよろしくお願致します。

柴田晴佳 (F M 34)



この度、北里大 学三水会の理事を務めさせていただきますことになりました。水産学部水産生態学研究室出身)です。

私は、東日本大震災で流出したガレキの分布把握やガレキに付着する生物について研究を行ってきました。現在は、建設会社の技術研究所で働いております。学部生・修士課程は三陸で過ごし、震災のため、博士課程は相模原で過ごしました。大学院在学中は、三陸沖での調査のため、三陸研修所によく滞在していました。そのため、多くの先輩方と三陸で知り合うことができました。そのご縁もあり、この度、三水会理事に就任させて頂きました。三陸と相模原の両方を知るからこそ、出来ることも多々あると思います。精一杯、理事を務めていきますので、どうぞよろしくお願致します。

一際暑かった夏も終わり、日増しに秋の深まりを感じる今日この頃、皆さんはどのようなお過ごしでしょうか?



私の学生時代の思い出は、なんと言っても釣りです。三陸の魚は、関東出身の私にとって、見慣れない種類が多く、馴染みが薄いものばかりでしたが、逆に興味がそそられ、魚

がかかる度に何が釣れるか楽しみでした。淡水では、イワナ、ヤマメを狙い、海では、チカ、カジカ、ソイ、ドンコ等を釣っていました。また、釣りに行く際、クマの親子に遭遇したり、車の中に大量のカムムシが入り込み、悪戦苦闘したりと今となっては懐かしい話です。

最後になりましたが、三水会理事を引き受けた以上、至らぬ点もごさいます。精一杯努めさせていただきます。



この度、理事を務めさせていただきますことになりました。2014年卒で海洋生命科学部 海洋生命科学科 水族増殖学研究室の出身で、潜水部と料理愛好会(今は存在しないようですが...)に所属しておりました。

私はちょうど三陸へ行くことが叶わなかった年代です。2年に上がり、潜水部に入ると、先輩たちが口々に三陸は良かったというものですから、何とかして三陸で潜ろうと行つた三陸合宿——浪板で潜って、研修所でたらふく夕食を食べて、五葉温泉に入り、夏虫山で星空を見て、夜通し崎浜港で釣りを——本当に良い思い出です。

こんな私ですが、三水会の活動に寄与できるよう努めてまいりますので、よろしくお願申し上げます。

## 環境微生物学研究室（旧水産微生物学研究室）の近況報告

准教授 小椋山 篤志

環境微生物学研究室は現在、山口峰生教授、山田雄一郎講師と小椋山の三人のスタッフで運営しており、22名の四年生、2名の大学院生が在籍し、1名はバンングラデシユからの留学生です。相模原のMB棟5階で、1部屋の居室、2部屋の実験室（うち1部屋は半分に分けて使用しています）を環境微生物学研究室として使用しています。

はじめに、現在の研究室スタッフについて紹介させていただきます。山口先生が教授として、2年前に水産研究教育機構瀬戸内海区水産研究所から本研究室に着任されました。同研究所では、本学部の卒業生である坂本節子さん（学部卒業1989年）と同じ研究室に所属し、貝毒や赤潮等の原因となる有毒・有害プラシトンのスペシャリストです。近年、ホタテガイにおける貝毒が大きな問題となっていますが、その貝毒の原因となる渦鞭毛藻の休眠胞子の発芽条件の検討や、自然環境での渦鞭毛藻や珪藻の休眠胞子数の変動、渦鞭毛藻に寄生する生物に関する研究を行っています。山田講師は、現



在もフィールド調査を活発に行っており、岩手県大船渡湾の調査のみならず、東京湾へも向いています。そこで東日本大震災が環境に与えた影響や、動植

物プランクトンの変動を調べています。また、サケ稚魚の食性を調べ、好適な餌条件の検討も行っています。私は相変わらず室内実験で渦鞭毛藻を培養し、その生命現象を分子生物学的な手法を用いて調べたり、月に一度大船渡湾に出てサンプリングを行い、海中の微生物を解析したりしています。この原稿の執筆中は実習で、三陸臨海教育センターに滞在しています。実習ではプランクトンネットを使って動植物プランクトンを採取し、顕微鏡で生きた状態を観察してもらっています。私は相模原でも渦鞭毛藻アレキサンドリウムタマレンセなどを培養しています。海水は大船渡湾や越喜来湾のものではなく、購入したものをを用いており、培地はIMK培地に変更しています。三陸で植え継ぎ班（でしだしょうか？）が海水を大きなろ過装置を使つてろ過し、夏は汗をかきながら5Lの三角フラスコを使つて培地を分注していた日々を懐かしく思います。

次に、各部屋の説明をさせていただきます。居室には三陸から輸送したテーブルを配置し、キャスター付きの椅子を使つてもらっています。学生の居室奥には山田講師と私の居室もあります。一方、山口教授の居室は実験室内にあります。私の部屋は非常に汚かったのですが、一念発起しました。どうにか見ることができると自分言いかせています。実験室内の機器類は多くが三陸時代から使い続けているものです。顕微鏡は昔と変わらないものを使用しています。山口教授は顕微鏡を多用することから、最近顕微鏡待ちが多数発生しており、新たな顕微鏡を買いおくと画策中です。実験室には暗室もあ

り、蛍光観察やクロロフィル量の測定なども行えます。山田講師も顕微鏡を使用していますが、専ら実体顕微鏡による観察です。顕微鏡を用いて観察や計数を行っている姿が並ぶ光景は、三陸時代から変わっていません。その他、液クロも頑張つて稼働中です。緒方先生の意志を少しでも継ぐべく、渦鞭毛藻の毒に関する研究も細々と行っています。凍結乾燥機や遠心分離機、電気泳動装置なども現役で動いています。また、培養用のインキュベーターを新規に購入し、実験室内で多くを培養できるようにしています。MB棟には恒温庫もあり、10Lの培地を用いた大量培養も可能です。そのため、海から離れたキャンパスで研究を行っています。それが、それほど不自由は感じていません。

これまでスタッフや部屋の説明を書き綴らせていただきました。私は月に一度のサンプリングで、三陸臨海教育研究センターへ向かっています。日程が他の研究室と重なり、食堂のテーブルで皆さんと並んで食事したり、お酒を酌み交わしていたりすると、食堂からの景色と共に、賑わっていた食堂の情景（夕定食もありましたね）が思い出されます。先日は海から湧き上がるような霧を体験し、霧の中で鹿の出現に怯えて車を運転したことを思い出しました。サンプリングへは清水漁港から出発しています。潮が引いた際には、船の乗

り降りの際に海に落ちそうになった人もいたのでないでしょう。キャン



パスが大船渡にあつた際には、サンプリングの前後の天候も把握できていたが、現在は天気予報が頼みの綱です。そのようなことから、環境中の一瞬のみを取り出したデータに対する解釈が誤つていないかと危惧しています。相模原に移つてから、山田講師は東京湾や湖など、新たなフィールドを開拓して日々サンプリングに飛び回っています。三陸時代は岩手県水産技術センターの職員の方々とサンプリングや共同研究を行つておりましたが、相模原に移つてからは新たに神奈川県水産技術センターとの連携も始まり、東京湾や相模湾における動植物プランクトンの調査、さらに芦ノ湖の環境調査なども行つております。江の島や富士山を見ながらのサンプリングは気分爽快で、四年生も喜んでいきます。一方、山口教授は西日本方面の様々な地域のサンプルを扱つていることから、卒業研究の発表会では様々な水域の情報が報告され、非常にバラエティに富んだものとなっています。

研究室の近況報告にもかかわらず、昔話が多くなってしまいました。これからは顕微鏡を使わなくては観察することが出来ない、小さいながらも大きな謎を持つ微生物を対象として、生命現象についてその謎を解き明かし、世の中の役に立たせるべく精進したいと思えます。これまでも行われてきた研究は研究室の四年生や大学院生と共に成し遂げてきたものです。この場をお借りして心より感謝申し上げます。近くに超越の際には、ぜひお立ち寄りください。人を招き入れることができるようになったら？私の部屋をご案内いたします。最後に、本執筆の機会を与えてくださいました、三水会に御礼申し上げます。

## 退職のご報告

元北里大学職員 中嶋 勇喜



三水会の皆様  
こんにちは。

6月24日(木)

夕方、越喜来湾沖  
合で船釣りをし  
いたら、長谷川一

敏前三水会長から電話があり、退職に際しての三水会報への投稿依頼がありました。三水会の皆様より、退職後の私のことを気にかけていただいている方がいらつしやると聞いて、光栄に思っています。投稿することといたしました。

私は、1972年4月に北里大学水産学部(現海洋生命科学部)に就職し、その後2009年4月に北里大学看護学部へ異動、2016年4月に学校法人北里研究所法人本部総務部に異動になり、2018年3月31日付けを以って退職いたしました。45年間の長きに渡り北里大学にお世話になり無事事務職員として勤めあげる事が出来ました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と感謝しております。また、私の家は水産学部が三陸に設立した当初、父親が学生向けのアパートを建設いたしました。アパートの大家としても学生の皆様にお世話になりました。

10年前に妻が他界し、息子達3人はそれぞれ社会人として巣立って行きました。今は91歳の母と三陸で二



人暮らしをしています。海の穏やかな日はウニ漁や釣りをしている喜びを感じています。

水産学部当時私の心に残っている思い出と震災後7年経った三陸の現在の様子を三水会HPでご報告いたします。

### ○漁火際

三陸キャンパスの海に漁火が灯る頃、グラウンドのすすきの合間から事務室で仕事をしていると漁火際の練習で「水産放浪歌」が秋風とともに聞こえてきます。歌に哀愁を漂わせながらも、これから社会を担う若い学生たち巣立っていく逞しさが今でも強く印象に残っております。

大漁踊りの赤ふんは、大船渡駅前や釜石駅前などで漁火際のPRのため、大漁踊りを赤ふんで披露し、最後に崎浜の中嶋商店前や新千商店前では一升瓶を回し飲み、地元の小中学生やおばちゃん達にからかわれ、地域一体で楽しんで大漁踊を思い出します。

### ○ラグビー部

若い時、ラグビー部の部員が少な

いため穴埋め部員として借りだされ、グラウンドでボールが見えなくなるまで一緒に練習し、練習の後に体育館下の「志学荘」の一室で学生達と酒を酌み交わし、加山雄三の歌をみんなで歌い騒いだこと。

### ○パーベキュー

夏休み前の試験が終わったころ、学生達が第三中吉荘の中庭でパーベキューをして騒ぎ、近隣の方から大家の私に苦情がきたので、注意しに行つところ、あまりにも楽しい雰囲気と美味しいお酒に誘われて一緒に騒いでしまい。翌朝学生達と一緒に近隣の方にお詫びに廻ったこと。

### ○クリスマススイブ

冬休みでアパートの学生たちが帰省しますが、何人かの学生が残って居ます。クリスマススイブの晩、一人寂しく過ごしていることと思い、電気のついてる学生の部屋を回り一緒に家でクリスマスケーキを食べようよと誘ったら全員が「今晩は友達と過ごす」と断られました。でも皆さん一人で過ごしたみたいでした。大家に誘われた事が寂しさを更に煽ってしまったことを反省しました。

思い出はまだありますが、皆様が感受性豊かな青春時代のひと時を過ごされました第二の故郷「三陸」に、どうか皆様、仕事に疲れた時は三陸の海に心を癒しに来てください。震災後も綺麗な三陸の海は今も変わらず皆様をお待ちしております。

## 平成30年度三水会関東地区親睦会に参加して

24FA 川上由紀(小野塚)

今年で開催が二回目となる木更津市牛込海岸で開催された三水会関東親睦会に参加して参りました。

昨年が続いて二度目の参加となりましたが、昨年は炎天下の元、二歳前の娘をおんぶしたままのサバイバルな潮干狩り、パケツ一杯の貝を採ってやる！という意気込みとは裏腹に体力が続かずなんとも不甲斐ない結果に終わってしまった苦しい思い出が……。今年は、もうすぐ3歳になる娘も戦力とすべく数日前からおもちゃのパケツと熊手で貝掘りのイメトレを行い、そして、当日はママは真剣に貝を掘るからおんぶはできないからね！としつこく言い聞かせ、万全の態勢で臨みました。

当日の牛込海岸は、雲一つない晴天、そして心地よい風が吹き、潮干狩りにはまさにベストコンディション。ふと周りを見ると、とても嬉しそうなお笑い顔で、貝を入れる網と熊手を振り回しながら貝掘りに向かういいお大人たちが……。あ、この光景、ど



こかで見たことある…？あ、確か大  
学二年生の時に校舎真下の海岸での  
磯採集の実習の時の光景と似ている  
…！と気づき、笑えてしまいました。

さて、実際の獲れ高はという  
と、娘は事前のイメトレも空し  
く、ヤドカリに夢中で貝掘りの戦力  
にはならず、私はそんな娘をほった  
らかしつづ必死で貝掘りした結果、  
去年に比べれば3倍程の量に！出口  
のおじさんにはまだ少ないねー！と  
言われましたが、自分では大満足の  
結果でした。

海の家に戻るとんこ盛りにアサリ  
が入ったバケツが三つ並んでいたり、  
外の洗い場では細かく洗い方や持ち  
帰り方、保存の仕方まで教えてくだ  
さる方がいたり、やはり三陸の臭い  
が色濃く出ている潮干狩りでした。

潮干狩りは絶対に楽しい。という  
かむしろ楽しくないわけがない。そ  
して、そこに世代は違えども同じ思  
い出を持つ水産学部卒業生が集まっ  
て思い出話をしながら潮干狩りをす  
るわけで、これがまた楽しさを増し  
ていきます。もはや私にとつては一  
年のうちの一大イベント。まだ認知  
度が少なく、あまりたくさんの卒業  
生にはご参加頂けてませんが、ぜひ  
来年はもっとたくさんの卒業生と繋  
がり、盛り上がりながら潮干狩りが  
できると思います。1999年卒で  
なみに私は24期生、1999年卒で  
す。ぜひ、私と年代が近い卒業生と  
もお会い出来たら嬉しいです。もち

ろん一人での参加もOK、同期を  
誘ってもOK、ご家族連れの方も大  
歓迎です！来年はたくさんの卒業生  
とお会いできるのをまた楽しみにし  
ています！

### 平成30年度三水会準会員活動 助成

海洋生命科学部北里会  
北里三陸湧昇龍部 主将  
3年 那須野 暁

この度は、三水会準会員活動助成  
金を交付して頂き誠にありがとうございます  
でした。私たち北里三陸湧昇龍  
部の活動を評価して頂いたことを、  
大変光栄に思っております。北里三  
陸湧昇龍部部員一同を代表いたしま  
して、心より御礼申し上げます。

東日本大震災後、海洋生命科学部  
がここ相模原キャンパスへ移転して  
から7年が経ちました。北里三陸湧  
昇龍部は三陸時代に結成され、よさ  
こいを踊り続けて16年となりました。  
現在は部の創設以降初めて部員  
が100名を超え、総勢102名で  
活動しています。部の規模が大きく  
なったことから運営体制などを変え  
つつ、先輩方から引き継いだ伝統を  
守りながら日々練習に励んでいま  
す。相模原市など近隣地域をはじめ  
、東京・埼玉・静岡・岩手など各  
地のイベントにも参加し、精力的に  
活動を続けています。岩手県では三

陸時代からお世話になつていらっしゃる方々  
との交流があり、私たちが温かく迎  
えてくださり、今もなお深い繋がりが  
残っていることを実感し、これか  
らもこのご縁を大切にしていきたい  
と思います。「生まれは三陸、育ち  
は相模原」のフリーズの通り、三陸  
で生まれたことを忘れず、次の世代  
にも引き継いでいこうと思います。  
今現在このように活動できているの  
は相模原に移つてからの部の基盤を  
築いてくださった先輩方、部を支え  
てくださった三水会、部長の吉永先  
生や事務の皆様、お祭りに呼んでく  
ださる主催者の皆様の支えがあるか  
らだと思えます。まだまだ未熟な点  
も多々あるかと思いますが、これか  
らも見に来てくださる方々に笑顔  
を届け、感動を与えられるような演舞  
を目指し精進して参りますので、今  
後ともご支援、ご指導のほどよろし  
くお願いいたします。



岩手県盛岡市で行われた盛岡さん祭りにて

### 三陸を語る会に参加して

FF14 大坪 孝志

6月17日千葉県J.R津田沼駅近く  
の居酒屋で37名の同窓生と現役生が  
集まり「三陸を語る会」を催したこ  
と報告致します。

さて、皆さん三陸キャンパスを囲む  
リアスの山々に響き渡った太鼓の音  
を覚えていらつしやいますでしょ  
うか？大漁踊り本番に向け連日厳しい  
練習を重ねたあの日々を三陸キャン  
パスで過ごされた方々は懐かしく思  
われるのではないのでしょうか。今回  
この企画を催した目的は、長年、学  
生達を奮い立たせてくれた太鼓の修  
理費の募金のためでした。(太鼓は  
第六期の皆様が卒業記念に三水会へ  
寄贈して下さいました)

発端は昨年、年季を感じる太鼓の  
革を見た同窓生の可能ならば修理し  
たいですね、という言葉、そして、  
せっかくなら大勢で協力しあつて直  
したいねと今回の「三陸を語る会」  
の集まりとなりました。

日中の時間帯ということもあり大先  
輩たちは元気モリモリ、加えてハツ  
ラツとした現役生の清々しさに親世  
代の我々もルンロンとなりいつもよ  
り更に賑やかに、時間が経つのを忘  
れる「三陸を語る会」となりました。  
さて肝心の寄付金ですが、見積もり  
修理費が約15万円のところ、17万円  
の寄付金が集まりました。今回ご参  
加いただいた同窓生の皆様、沢山の



ご厚志賜りありがとうございます。またこの会に参加できない方々からも事前に寄付をお寄せ下さりました。

この場をお借りしお礼申し上げます。ありがとうございます。

今回の太鼓修理の段取り一切を取計ってくださった北里大学本部職員の方、北島さん（15期生）から、早々に大学関係者から太鼓の貸し出し願いがあつたと連絡があり、早速我々の太鼓の活躍する場ができたことを（修理が間に合うかな？）皆さまにご報告でき嬉しく思います。

追伸、募金の残金についてですが、昨年企画しました「俺の三陸」写真展（越喜来）で足がでてしまいました。その補填に使わせて頂くことを何とぞお許しください。

## 「 掲 示 板 」

### ■ 卒業学部・学科 同窓会識別コード表

| 【学部・学科】 | 【専攻・1回生卒業年】             | 【学科識別コード】 |
|---------|-------------------------|-----------|
| 水産学部（旧） |                         |           |
| 水産増殖学科  | 昭和51年（1976）～平成15年（2003） | FA        |
| 水産食品学科  | 昭和51年（1976）～平成15年（2003） | FF        |
| 水産生物科学科 | 平成16年（2004）～平成25年（2013） | FM        |
| 海洋生命科学部 |                         |           |
| 海洋生命科学科 | 平成24年（2012）～            | FB        |

●上記は卒業生の同窓会独自のコードで、現在の在学生在に於ける学部・学科とは名称が異なります。また、会報等でFA：1・FM：34・FB：39標記の様に学科識別コード以下の数字は卒業期の通し番号になります。

### ■ 2019年度企画事業のお知らせ

- 1 三水会では2019年11月6日（土）午後2時より白金キャンパス、大村記念ホールにて、講演会を開催します。講師等、詳細につきましては次号三水会報、また三水会ホームページにてお知らせします。
- 2 2019年11月6日（土）午後4時より白金キャンパス、薬学部2号館1階学食フロアーにおきまして、水産学部4期生・5期生・6期生を対象とした集いを開催予定にしています。各研究室、恩師をお招きし卒後30年の再会を盛大に行います。詳細につきましては2019年9月以降のご案内予定です。

### ■ 平成30年度三水会関西地区親睦会のご案内

開催日時：平成30年11月18日（日曜日）

開催場所：大阪市心斎橋にて

内 容：親睦会 問い合わせ：sansuikaikansai@yahoo.co.jp

\*学部よりお招きします来賓につきましては現在日程調整中です。詳細は決まり次第、三水会HPに掲載します。尚、関西地区会員には後日、ご案内葉書を発送します。

### 編集後記

猛暑の夏が峠を越えて、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。今年も自然災害による大きな被害が各所で起こっています。特に西日本豪雨では広い範囲で甚大な被害がありました。被災された会員の方あるいは関係者の方々にこの場を借りてお見舞い申し上げます。

さて、三水会では来年度に全学同窓会主催の講演会を開催することになりました。ホームページや来年度の会報でご案内する予定です。また、この講演会と同時に開催する卒後30年の集い（仮称）の準備を進めております。今回は4、5、6期生を対象とした親睦会になります。該当される会員の皆様はぜひ講演会ともども奮ってご参加いただきたいと思います。